

< LIDAR >

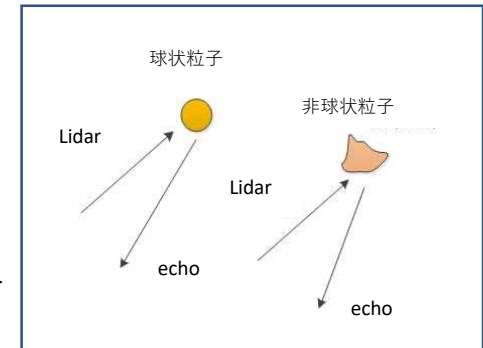
概要

- ・大気中の粒子、ガスなどを検出するために、レーザを照射して、その反射光を検出・分析する事により、その成分を検出する事が可能。
- ・ドップラーLidarでは、大気の流れの変化を読み取り空港などのダウンバーストなどの観測に利用。
また、自動車の自動運転用のセンサーとしての開発も、急速に進められている。



応用例

大気中の粒子の検出



デジタル化への要求として、検出対象の大きさ、変化のスピードのバリエーションにより、検出速度の高速化、高分解能、高SNRが求められています。

主な仕様・特長

高速デジタル化機能

最大 5GS/s 高速デジタル化、帯域2.5GHz

高分解能 (8ビット~16ビット)、高SNR

ローノイズ性能→繰り返し測定回数の減少→トータル測定時間減少

高データスループット

最大3.5GB/s データ転送スピード

ボード上のFPGAによるリアルタイムアベレージ及びピーク検出機能

省スペース&省消費電力: 装置全体のコンパクトパッケージ化

ドップラーLidarによる風速解析

